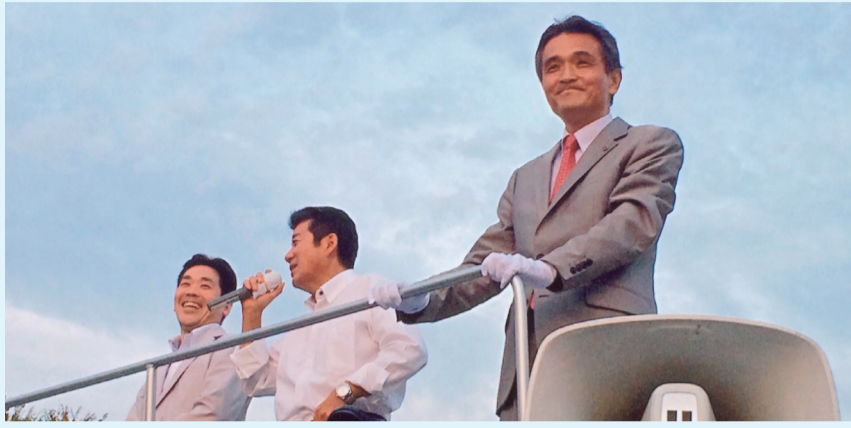


大阪維新の会 大阪府議会議員 上島一彦の府政報告

■都構想で住民サービス向上

都構想の大きな目的は、府と市が合えば「不幸せ」という二重行政の無駄を省いて、成長戦略を実現し、府民全体の生活を豊かにする事です。
 消防、水道等の仕事は市町村がバラバラに担うよりも、府域で一元化した方がはるかに効果的であり、そこで削減した行政コストを更なる住民サービスの向上に充てる事が出来ます。



■府議の定数・報酬カットで覚悟を示す

平成23年春、大阪維新の会は、府議の報酬を3割、定数を2割カットしましたが、全国の議会でこのような大幅な削減をした例はありません。
 真に府民のための行財政改革を断行する覚悟を示すために、先ず議員自身を切りました。
 平成27年春、次回は109名から88名に定数を減らして、府議選が行われます。



橋下 徹 大阪市長

大阪維新の会・みんなの党 都構想推進大阪府議会議員団 9月定例会報告・代表質問

大阪都構想の設計図が完成

今こそより強い大阪の実現を!

府議会9月定例会において、9月30日、大阪維新の会・みんなの党 都構想推進大阪府議会議員団の置田浩之政調会長が代表質問を行いました。



置田政調会長

代表質問の全容は、大阪府議会ホームページ(インターネット中継)でご覧になれます。

大阪都構想の推進

特別区設置協定書について

【置田浩之】

本年7月、法定協議会で特別区設置協定書がとりまとめられ、大阪都構想に関する設計図が総務大臣の承認を得て9月について完成した。都構想で大阪がどのように良くなるのか。

【松井知事】

- 大阪の再生には新たな大都市制度の実現しかない。
- 府市の再編により、
 - 広域機能を一元化して都市競争に打ち勝つ強い大阪を実現する。
 - 大阪市を特別区に再編して公選区長・区議会のもと住民に身近な基礎自治体を作り、身近なことは、住民参画のもと地域で決める。
- 広域機能の府への一元化で府域全体の観点から、スピード感を持って強力な施策展開が可能となり、産業政策や交通インフラの整備などを効果的に進めていく。

大阪を変える 大阪都構想 それは大阪市民の 住民投票 で決まります!!

実現すれば、大阪は必ず豊かになります

- 雇用が拡大します
- 子育て環境が改善します
- 教育環境が整います
- 街づくりが進みます
- 治安がよくなります

府と大阪市を再編すれば

- 設計図に示す5区案の財政シミュレーションでは平成29年度から17年間に大阪府と特別区で2900億円余の財源が生まれます
- 広域行政の一本化で新たな経済成長戦略が動き出します
 - まちが変わります
 - 交通インフラ(鉄道・モノレール)を整備促進します
 - 都市型高速環状道路を完成させます
 - 統合型リゾートを誘致します
- 特別区は区長公選で住民サービス向上

大阪の現状、知ってほしいこと

- 低い世帯収入
- 生活保護率ワースト1
- 会社が逃げていく大阪
- 止まらない経済低迷
- 役所経営の失敗

議会も住民もすべてが納得するには 住民投票 です!

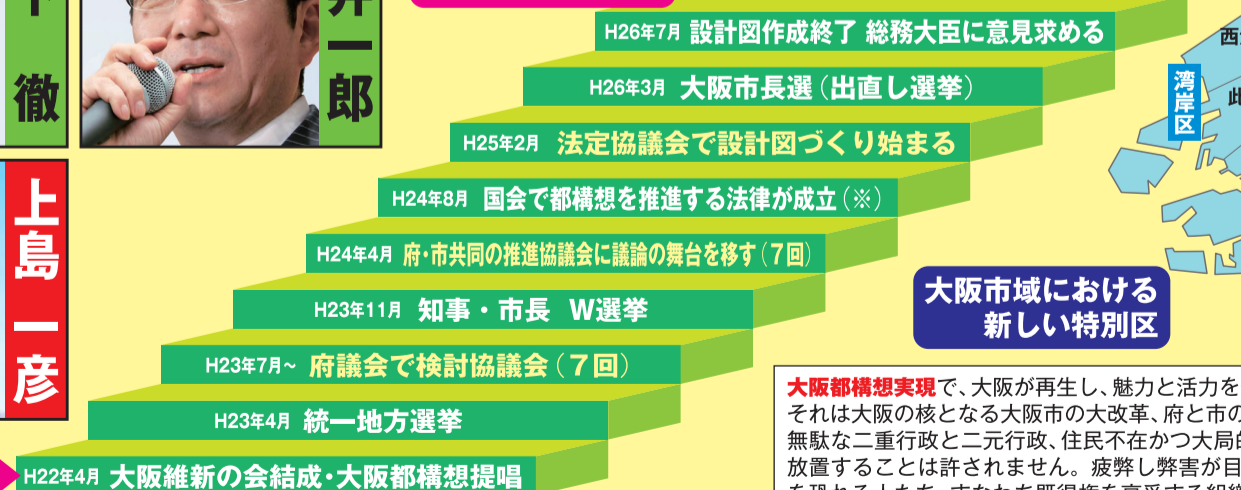


橋下 徹

松井 一郎

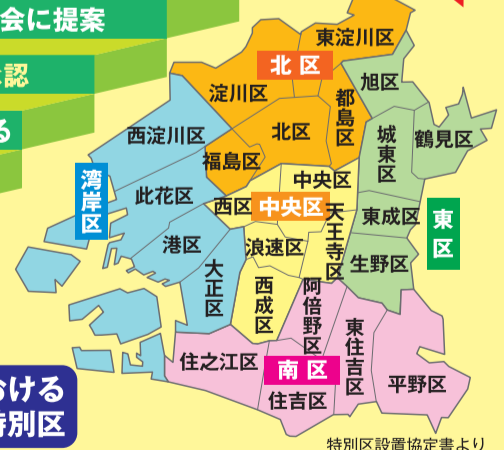
上島 一彦

大阪都構想設計図は(特別区協定書)議論激論を重ねH26年9月に完成!!



住民投票

あと2段



大阪市域における新しい特別区

特別区設置協定書より

大阪都構想実現で、大阪が再生し、魅力と活力を生み出す都市になります。それは大阪の核となる大阪市の大改革、府と市の再編統合から始まります。無駄な二重行政と二元行政、住民不在かつ大局的見地と経営理念なき行政と議会を放置することは許されません。疲弊し弊害が目立つ現在の機構を変えるため、改革を恐れる人たちが、すなわち既得権を享受する組織や勢力の抵抗を恐れず、**大阪維新の会・みんなの党都構想推進府議団**は、実現に向け果敢に斬り込んでまいります。

ここから始まりました

〈設計図完成までの道のり〉

※大都市地域における特別区の設置に関する法律